

【学術資料】

スモモ新品種の特性調査 ー第2報ー

芦澤勇太¹・池田博彦²・萩原栄揮³

¹現 山梨県農政部峡南農務事務所

²現 山梨県農政部担い手・農地対策課

³現 山梨県農政部販売・輸出支援課

キーワード：スモモ，品種，生育特性，果実品質

目 的

山梨県の令和5年のスモモ栽培面積（結果樹面積）は778 haである。また、収穫量は5,690 tと都道府県別の収穫量割合の約33%を占め、全国1位となっている¹⁾。また、山梨県の果樹栽培において、スモモの栽培面積は、ブドウ、モモに次ぎ、山梨県の主要果樹の一つに位置づけられている²⁾。

また、新たな品種の育成も活発で、スモモ（ニホンスモモ種）ではデータの存在する1982年1月から2021年12月時点の間に、56品種が登録されている³⁾。

本研究では近年育成された品種について、山梨県における栽培適応性や生育特性、果実品質などを明らかにし、新品種を導入するための基礎資料として活用することを目的に調査を実施した。

結 果

検討品種の概要を第1表に示した。供試品種の生育特性を第2表、果実品質を第3表に示した。なお、生育特性は2018～2022年の5年間の平均値（ただし、‘太陽’は2020～2022年）、果実品質は2020～2022年（ただし、‘紅香のしずく’は2018～2020年）の平均値である。また、成熟期の果実外観を第1図に示した。

1. ‘スイートかれん’

開花期は‘貴陽’よりやや早く、結実は良好であった。成熟期は‘貴陽’より4日早い7月下旬であった。果実は陽光面を中心に赤色となるが、全面には着色しなかった。

果実重は127 g程度で‘貴陽’より小玉であった。糖度は17.8°Brixと高く、酸味が少ないため食味は良好であった。

2. ‘紅香のしずく’

開花期は‘ソルダム’と同時期で、結実は良好であった。成熟期は‘貴陽’より6日遅い7月下旬～8月上旬であった。果実は濃紅色に着色し、果肉も濃紅色であった。

果実重は101 gと‘貴陽’より小玉であった。糖度は15.5°Brixとやや低く、食味は不良であったため、2020年に検討を終了した。

3. ‘アルプス王子’

開花期は‘ソルダム’と同時期で、結実は良好であった。成熟期は‘太陽’より7日早い8月上旬であった。果実は濃赤色に着色し、果肉は黄色であった。

果実重は149 gと‘太陽’よりやや大きかった。糖度は16.9°Brixと高く、食味は良好であった。

しかし、予備摘果期以降に生理落果の発生がみられるため、予備摘果は慣行よりも多くの果実を残す必要があった。

4. ‘ふかさわ’

開花期は‘貴陽’よりやや早かった。成熟期は‘貴陽’より11日遅く、‘太陽’より6日早い8月上旬であった。人工受粉は、前年に採取し貯蔵した‘ハリウッド’の花粉を用いたが、結実率は7.7%と‘貴陽’と比較してやや低くなった。よって、結実確保のために、‘貴陽’と同様に人工受粉の回数を多くする必要がある。果実は全面に濃赤色に着色し、果肉も紅色であった。

果実重は199 gと‘太陽’より大きかった。糖度は16.1°Brixと‘太陽’よりやや低いが、適度に酸味があり食味は良好であった。

‘ふかさわ’は‘貴陽’と‘太陽’の間に収穫期となり、果実は大玉で良食味なことから、品種特性をとりまとめて令和5年度の研究成果情報として公表した。

5. ‘皇寿’

第3表において‘皇寿’の開花期は対照の‘貴陽’と標高が異なるため、‘貴陽’より遅くなっている。そのため‘皇寿’と同標高の‘貴陽’と開花期を比較したところ、開花期は‘貴陽’と同時期であった（データ省略）。成熟期についても標高を考慮すると、‘太陽’より2日程度遅い8月中旬であった。人工受粉は、前年に採取し貯蔵した‘ハリウッド’の花粉を用いたが、結実率は9.2%と‘貴陽’と比較してやや低くなった。よって、結実確保のために、‘貴陽’と同様に人工受粉の回数を多くする必要がある。果実は全面に濃赤色に着色し、果肉は黄色であった。

果実重は230 gと‘太陽’より大きかった。糖度は18.1°Brixと高く、食味は‘貴陽’と同様に極めて良好であった。一方、‘貴陽’と同様に成熟期の降雨により果梗部裂果が発生しやすいため、カサかけが必要である。‘皇寿’は‘太陽’の後に収穫期となり、果実は大玉で良食味なことから、品種特性をとりまとめて令和5年度の研究成果情報として公表した。

6. ‘秋さやか’

開花期は‘貴陽’と同時期であった。成熟期は、‘太陽’より21日遅い9月上旬であった。結実良好なことから、摘果作業が遅れないように注意する必要がある。果実は陽光面のみ赤色に着色し、果肉は黄色であった。果実重は135 gと晩生種としてはやや小ぶりであった。糖度は17.9°Brixと高く、食味は良好であった。

‘秋さやか’は‘太陽’の後に収穫期となり、果実は糖度が高く良食味なことから、品種特性をとりまとめて令和5年度の研究成果情報として公表した。

7. ‘サンルージュ’

開花期は‘ソルダム’とほぼ同時期で、結実は良好であった。成熟期は‘太陽’より23日遅い9月上旬であった。果実は濃赤色に着色し、果肉も紅色であった。

果実重は172 gと‘太陽’より大きかった。糖度は18.0°Brixと高いが、酸味が強く食味はやや不良であった。

第1表 検討品種の概要

品種	来歴(育成地)	育成地の成熟期	登録年 ^y
スイートかれん	偶発実生 (山梨)	8月上旬	2012
紅香のしずく	偶発実生 (青森)	8月上旬	登録なし
アルプス王子	偶発実生 (山梨)	8月上中旬	2012
ふかさわ	偶発実生 (山梨)	8月中旬	2018
皇寿	貴陽の枝変わり (山梨)	8月下旬	2012
秋さやか	秋姫の自然交雑実生 (山形)	9月上旬	2011
サンルージュ	太陽×ソルダム (山形)	9月上旬	2006

^y 種苗法による登録年

第2表 検討品種の生育特性(2018~2022)

品種	樹齢	裂果	生理落果	果形	開花期			収穫期	
					始め	満開	終わり	始め	終わり
スイートかれん	7~11	無	無	円	3/19	3/24	4/4	7/21	8/3
紅香のしずく ^z	9~11	微	無	円	3/22	3/27	4/5	7/31	8/10
アルプス王子	7~11	微	中	楕円	3/22	3/26	4/6	8/5	8/13
ふかさわ	5~9	微	無	円	3/19	3/24	4/5	8/6	8/11
皇寿	4~8	微	無	円	3/24	3/28	4/11	8/18	8/26
秋さやか	9~13	微	微	円	3/20	3/24	4/9	9/2	9/11
サンルージュ	8~12	微	少	円	3/23	3/27	4/8	9/4	9/10
ソルダム	10~14	微	無	円	3/22	3/25	4/6	7/6	7/12
サマーエンジェル	14~18	微	微	円	3/20	3/27	4/10	7/11	7/22
貴陽	7~11	少	微	円	3/20	3/25	4/9	7/25	8/3
太陽 ^y	8~10	微	微	短楕円	3/19	3/22	4/5	8/12	8/22

^z ‘紅香のしずく’は2018~2020の調査データ

^y ‘太陽’は2020~2022の調査データ

第3表 検討品種の果実品質(2020~2022)

品種	果実重 (g)	硬度 (kg)	糖度 (° Brix)	酸度 (pH)	食味 ^z
スイートかれん	127.5	1.6	17.8	4.4	4.1
紅香のしずく ^y	101.6	1.9	15.5	4.3	3.3
アルプス王子	149.6	1.9	16.9	4.3	3.9
ふかさわ	199.4	1.7	16.1	4.1	3.9
皇寿	230.1	1.7	18.1	4.3	4.5
秋さやか	135.1	2.0	17.9	4.1	3.9
サンルージュ	172.5	2.3	18.0	4.1	3.5
ソルダム	98.6	2.0	13.9	4.1	3.5
サマーエンジェル	146.9	1.8	15.7	4.2	3.6
貴陽	234.1	1.6	17.4	4.3	4.5
太陽	134.7	1.8	17.0	4.2	3.5

^z 食味は1(不良)~5(良)の5段階で評価した

^y ‘紅香のしずく’は2018~2020の調査データ



スイートかれん



紅香のしずく



アルプス王子



ふかさわ



皇寿



秋さやか



サンルージュ

第1図 検討品種の果実外観

引用文献

- 1) 農林水産省(2024). 令和5年産もも, すももの結果樹, 面積, 収穫量及び出荷量.
- 2) 山梨県(2023). 令和4年山梨県農業および水産業生産額実績.
- 3) 農林水産省品種登録ホームページ. <https://www.hinshu2.maff.go.jp/>